

がんクラスター

(代表：泌尿器科学 大家 基嗣)

わが国において最大の死因はがんによる死亡であり、高齢化社会の進行とともに、保健上の重大課題となっている。本クラスターは、「信濃町クラスター」の一つであり、基礎的ながん研究を行う研究室とがん治療を臨床で行っている教室から構成されている。がんを学ぶことは、生命医学の基礎的理解から、実際の患者をいかに治療するかを具体的に討議することまでを含む。がんの多様性、つまり発生する臓器によって特徴が異なること、また、治療方法についても、がんの種類によって、また、がんの病期によって異なることを理解しなければならない。その一歩は興味を持つがんを選択し、それを軸として展開していくことである。基礎の研究室だけでなく、臨床の教室でも様々な基礎的研究を展開しているので、具体的な研究内容については、各グループのホームページを参照していただきたい。興味のある研究室については、各々のラボツアーに参加して、さらに具体的な研究内容の説明、設備等の見学を行うことができる。臨床の教室では、具体的な診療の説明や、臨床カンファレンスに参加が可能であり、診断から治療への流れを知るとともに、医療における考え方を体感できる。がんに関連した講義・セミナーが行われるので、各人の興味とニーズに合わせて受講することを勧める。さらに、特に希望する場合には、自らの研究の将来的なアウトプットとして、医療への応用を議論することも可能である。

キャンパス	所属	研究室責任者	研究室 URL
信濃町	病理学	坂元 亨宇	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/patho/index-jp.html
信濃町	病理学	岡田 保典	
信濃町	先端医学科学研究所	河上 裕	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/admedres/index-jp.html
信濃町	先端医学科学研究所	佐谷 秀行	http://genereg.jp/index.html
信濃町	内科学	日比 紀文	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/medicine/index-jp.html
信濃町	内科学	石坂 彰敏	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/medicine/pulmonary/index.html
信濃町	外科学	森川 康英	http://www.studioasia.jp/dev/keiohos/web/
信濃町	外科学	北川 雄光	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/surgery/ggs/study_group/index.html
信濃町	麻酔学	武田 純三	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/aneskeio/index-jp.html
信濃町	整形外科学	戸山 芳昭	http://www.keio-ortho.jp/
信濃町	小児科学	高橋 孝雄	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/pedia/index-jp.html
信濃町	産婦人科学	青木 大輔	
信濃町	泌尿器科学	大家 基嗣	http://keio-urology.jp
信濃町	耳鼻咽喉科学	小川 郁	http://www.keio-ent.jp
信濃町	精神・神経科学	鹿島 晴雄	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/psychiat/
信濃町	放射線科学	栗林 幸夫	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/rad/
信濃町	リハビリテーション医学	里宇 明元	http://www.keio-reha.com/index.html
信濃町	薬剤部	谷川原 祐介	
芝共立	化学療法学	杉本 芳一	http://www.pha.keio.ac.jp/laboratory/laboratory15.html

A) ラボツアー (選択必修)

上記リストのうち、信濃町キャンパスの研究室のうち1つ以上を各自が選択して研究室見学を行う。再生クラスターに配属された学生の中からハウプトを一名選び、見学する研究室を学生間で全体調整した後、代表の学生が各研究室責任者と事前に連絡をとって日時等を決定する(混乱を避けるため、日程調整はグループ単位で行うこと)。

B) 講義・セミナー

信濃町キャンパスで開催される下記の「選択必修講義・セミナー」の中から最低1コマ以上受講し、A4で一枚程度のレポートを作成すること。他に、希望があれば、下記の「自由選択講義・セミナー」を聴講することができる。なお、「選択必修講義・セミナー」は主に研究に関する内容、「自由選択講義・セミナー」は、主に研究の基盤となる教科書的な内容を扱う。

1. がんクラスター選択必修講義・セミナー

(がんクラスターに参加している学生は下記のうちから最低1コマ以上受講することが必要。今後追加予定であり、下記についても日程等変更の可能性もあるため、最新情報は大学院GPのHPを各自参照のこと。)

1) 「特別セミナー」

信濃町キャンパスで開催されるがん関係セミナーの中から相応しいものを指定する。下記その他、大学院GPのHPに随時掲載するので、各自参照のこと。

月・日・曜日	時限	講実	タイトル	担当者	備考
未定					
未定					

2) 「分子細胞生物学 II (MCBII)」(信濃町キャンパス新教育棟講堂3)

月・日・曜日	時限	講実	タイトル	担当者	備考
4月30日(木)	2時限	講義	細胞周期と細胞増殖制御	佐谷秀行	

3) がんプロ講義

基礎腫瘍学

	日 程		教室	授業担当者	講義題目
	日時	時限			
第1回	4月16日(木)	2時限	演習室 4	佐谷 秀行	がんプロイントロダクション、がん研究の歴史
第2回	4月16日(木)	3時限	演習室 4	佐谷 秀行	がん悪性形質の分子機構(細胞周期、浸潤転移)
第3回	4月20日(月)	2時限	孝養舎 402	須田 年生	がん幹細胞
第4回	4月20日(月)	4時限	孝養舎 402	武林 亨	がんの疫学と予防
第5回	4月20日(月)	5時限	孝養舎 402	吉村 昭彦	がんウイルス
第6回	4月21日(火)	2時限	孝養舎 402	河上 裕	がんの Translational Research
第7回	4月22日(水)	4時限	孝養舎 402	工藤 純	ゲノム解析法
第8回	4月22日(水)	5時限	孝養舎 402	大家 基嗣	がん細胞シグナル伝達異常と分子標的治療
第9回	4月22日(水)	6時限	孝養舎 402	河上 裕	Interaction between cancer cells and immune system
第10回	4月27日(月)	1時限	孝養舎 402	坂元 亨宇	がんの分子病理
第11回	4月27日(月)	2時限	孝養舎 402	谷川原 祐介	抗がん剤の薬物代謝
第12回	4月28日(火)	1時限	孝養舎 402	中村 佳代子	分子イメージング
第13回	4月28日(火)	2時限	孝養舎 402	下田 耕治	動物実験
第14回	4月28日(火)	3時限	孝養舎 402	涌井 昌俊	プロテオーム・メタボローム解析法

医学特別講義と共通(18:00～19:30)

臨床腫瘍学

	日 程		教室	授業担当者	講義題目
	日時	時限			
第1回	4月14日(火)	2時限	孝養舎 402	岡本 真一郎	がん薬物療法の原則 / 抗がん剤の臨床薬理
第2回	4月15日(水)	2時限	孝養舎 402	森 毅彦	臓器保護
第3回	4月15日(水)	3時限	孝養舎 402	淡谷 典弘	新規薬剤 / 抗体薬の臨床薬理
第4回	4月15日(水)	4時限	孝養舎 402	高石 官均	非血液毒性と支持療法
第5回	4月20日(月)	3時限	孝養舎 402	国枝 悦夫	放射線腫瘍学
第6回	4月21日(火)	3時限	孝養舎 402	岡本 真一郎	血液毒性と支持療法
第7回	4月24日(金)	2時限	孝養舎 402	辻 哲也	がんのリハビリテーション
第8回	4月24日(金)	3時限	孝養舎 402	白波瀬 丈一郎	コミュニケーション
第9回	4月24日(金)	4時限	孝養舎 402	副島 研造	Oncologic Emergency

(最新情報は大学院 GP の HP を各自参照のこと。)

4) 「大学院医学特別講義」(信濃町キャンパス)

月・日・曜日	時限	場所	タイトル	担当者
7月21日(火)	14:45～16:15	予防校舎講堂	腎細胞癌：基礎と臨床を繋ぐ細胞生物学的特徴	大家 基嗣

2. がんクラスター自由選択講義・セミナー

(がんクラスターに参加している学生は聴講可能。今後追加予定であり、下記についても日程等変更の可能性もあるため、最新情報は大学院 GP のHP を各自参照のこと。)

月・日・曜日	時限	講実	タイトル	担当者	備考
未定					
未定					

C) ラボ・ミーティングへの参加 (希望者のみ)

クラスター内で、それぞれの研究室のラボ・ミーティング等に参加を希望する場合は、研究室責任者が承認した範囲内において、事前連絡して守秘義務を負った上で、参加することができる。個人情報等諸般の事情により、研究室責任者が参加を認めないミーティングもありうるので、必ず事前に研究室責任者に直接問い合わせること。